

令和4年度

[1173] 特別支援学級担任スキルアップ研修 第1回

【西部会場】

## しまね教育魅力化ビジョン

基本理念

～ふるさと島根を学びの原点に  
未来にはばたく 心豊かな人づくり～

育成したい人間像

自ら課題や展望を  
見だし、粘り強く  
挑戦し学ぶ人

人とのかかわりや  
つながりを大切にし、  
新たな社会を創造する

自然や文化を愛し、  
自他を共に大切にする  
優しく強い人



期 日 令和4年6月7日（火）

主 管 島根県教育センター浜田教育センター

島根県教育委員会

## 【研修当日のねらい】

- ① 子どもの実態を、行動の背景や環境、将来の姿等を踏まえ、より多面的・多角的にとらえた授業づくりや指導の在り方について理解できる。
- ② 自らの課題研究の内容や進め方について考えを深める。

## 【受講上の留意事項】

### 1 研修の記録等について

- 研修の記録等について、録画は原則ご遠慮ください。
- 県教育委員会指導主事等が講師の場合は、原則講義の録音、提示資料の撮影及び講義資料の複写等を行っても構いません。ただし、外部講師に限っては、禁止とする場合があります。レジュメ中の「研修資料の活用方法について」「写真の撮影等について」にて確認してください。

### 2 携帯電話・スマートフォンについて

- 講義や演習の時間には、電源を切るかマナーモードにしてください。

### 3 アンケートについて

- 今回の研修について…以下の QR コード（もしくは下のアドレス）から Google フォームにアクセスし、研修終了後、すべての質問に入力のうえ送信・提出してください。

※【アンケート・メモ】「受講前」についてはこちらをご活用ください。

1. 上記「研修のねらい」について、受講前のご自身の現状をお聞かせください。  
(○印をつけてください)

①：4	十分理解している	3	ほぼ理解している	2	あまり理解できていない	1	理解できていない
②：4	十分考えている	3	だいたい考えている	2	あまり考えていない	1	考えていない



### 研修アンケート・校内報告書

アンケート回答時に「回答のコピーを自分宛に送信する」にチェックを入れて送信していただくと、登録いただいたメールアドレスに回答内容が返送されます。校内人材育成の資料として、管理職への復命書に添付するなどご活用いただけます。

なお、このメールのアドレスは本研修の返送用以外で利用されることはありません。

メールが返送されない場合は下記にお問い合わせください。

島根県教育センター 浜田教育センター  
教育相談スタッフ

永見 修一

TEL 0855-23-6782 FAX:0855-23-5059

**回答締切 6月7日（火）**

<https://forms.gle/BrZsUTssirXkRzae8>

## 令和4年度 [1173] 特別支援学級担任スキルアップ研修第1回 実施要項

1 目的 特別支援学級の児童生徒理解や授業づくり及び学級経営について学び、特別支援学級担任としての専門性や幅広い知見を身に付け、指導力を高める。

2 主催 島根県教育委員会

3 主管 島根県教育センター

4 開催期日

管内	期日
松江・出雲・隠岐	6月3日(金)
浜田・益田	6月7日(火)

5 会場 所属長が指定する場所

(受講者と講師、当センターを Zoom でつなぎ、オンラインで実施)

※ 「10 その他」を必ずお読みください。

6 受講者 令和3年度に本研修(1年次)を受講したもので令和4年度も特別支援学級担任をしている者

7 内容 講義1 「子どもの理解とかかわり～実態把握と支援方法～」  
 講義2 「子どもの“生きづらさ”に気づく・理解する・寄り添う支援とは  
 ～社会自立(進路)に向けて～」  
 課題研究 「課題設定と1年間の見通し」  
 振り返り

8 講師

島根県立大学人間文化学部 保育教育学科  
 島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ  
 松江教育事務所  
 出雲教育事務所  
 浜田教育事務所  
 益田教育事務所  
 隠岐教育事務所  
 島根県教育センター  
 島根県教育センター浜田教育センター

教授 園山 繁樹  
 センター長 石橋 美恵子  
 指導主事 池田 文昭  
 指導主事 今岡 直子  
 指導主事 岡田 文  
 指導主事 富澤 孝輔  
 指導主事 角脇 幸子  
 指導主事  
 指導主事

9 日程 オンライン接続完了時刻 9:20

9:20	9:40	10:00	12:00	13:00	14:30	15:30	15:40
入室	入室確認	開講行事	講義1	昼食休憩	講義2	課題研究	閉講行事 振り返り
			園山		石橋	指導主事	

## 10 その他

- (1) 本研修を受講する場所を所属校の管理職に必ず相談の上、決定してください。
- (2) 研修時間中は、職務等により離席することはできません。
- (3) 県教育委員会指導主事等が講師の場合は、原則講義の録音、提示資料の写真撮影を行っても構いません。ただし、外部講師に限っては、禁止とする場合があります。
- (4) 遅刻・早退・欠席の場合には、担当者に早急に管理職を通じて連絡してください。また、島根県教育センターHPにある欠席（遅刻・早退）届【様式第1号】による手続きを行ってください。
- (5) 研修に際して配慮が必要な方は、事前に管理職を通じて担当者までご相談ください。
- (6) この研修についてご不明な点がございましたら、次の担当者にお問い合わせください。

島根県教育センター 教育相談スタッフ 土井 史

TEL 0852-22-5870 FAX 0852-22-6761

浜田教育センター 教育相談スタッフ 永見 修一

TEL 0855-23-6782 FAX 0855-23-5059

講義 1 「子どもの理解とかかわり～実態把握と支援方法」

島根県立大学 人間文化学部 保育教育学科  
教授 園山 繁樹

---

○研修資料の活用方法について（著作権に関する留意点）

当講師の資料（引用している箇所を除く）について、次の条件において活用できます。

- 1 営利を目的とせず、本研修の内容・趣旨を伝達するために活用する。
- 2 活用の際は出典を明示する。
- 3 資料の一部を加工して活用しても構わない。
- 4 資料の活用場所は、教職員が主体となる研修会に限る。
- 5 資料の活用者は、本研修を受講した者に限る。
- 6 期間は、1年間とする。

○写真の撮影等について

- 1 スクリーンに映し出された資料の写真撮影と録音は不可。

講義2 発達障がい 特別支援教育の視点から

「子どもの“生きづらさ”に気づく・理解する・寄り添う支援とは

～社会自立（進路）に向けて～」

島根県東部発達障害者支援センター ウイッシュ

センター長 石橋 美恵子

---

○研修資料の活用方法について（著作権に関する留意点）

当講師の資料（引用している箇所を除く）について、次の条件において活用できます。

- 1 当講師の資料（引用している箇所を除く）について、使用は不可である。

○写真の撮影等について

- 1 スクリーンに映し出された資料の写真撮影と録音は不可。

---

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

---

**研修の流れ**

1 全体説明（10分）【メインセッション】

2 グループ協議（50分）【各グループ協議のブレイクアウトルーム】

- ・以下の流れで、受講者のみなさん主体で進めてください。
- ・グループの担当講師に、積極的に質問をしてアドバイスを受けてください

①司会を決める

- ②一人ずつ発表する（3名グループ：一人10分程度  
4名グループ：一人8分程度  
5名グループ：一人6分程度）

★自己紹介

★昨年度の実践

★課題研究として今年度取り組みたいこと

★課題研究を進めるうえで悩んでいること、他校にきいてみたいこと

③質疑応答、情報交換

- ・他校や講師への質問、情報共有したいことについて出し合い、話を深めてください。

※15:30から振り返りが行えるよう【メインセッション】に移動してください。

振り返り 閉講行事

15:30~15:40

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



## 特別支援学級担任スキルアップ研修 課題研究について

### 1 2年目（令和4年度）のねらい

1年目で身に付けた知識や技能を使って授業実践や課題研究に取り組み、特別支援学級担任としての資質・能力を高める。

### 2 課題研究の内容

○授業実践や学級経営上の受講者自身の課題についてテーマを設定して取り組み、レポートと実施した授業の学習指導案をセンターに提出する。

※課題テーマ（例）

- ・ 子どもの実態把握について  
～自立活動の視点による実態把握を活かした授業づくり～
- ・ 主体的・対話的で深い学びの生活単元学習の在り方について
- ・ 複数学年に対応した知的障がい特別支援学級の数学の授業づくりについて
- ・ 自閉症・情緒学級における複数で実施する自立活動の時間の指導について  
～「人間関係の形成」にねらいを置いた自立活動の授業づくり～
- ・ 操作性の困難さに配慮した教材・教具づくり
- ・ 家庭と連携した生活単元学習の授業づくり
- ・ 交流及び共同学習について～理解教育の取組～ （別紙参照）

### 3 課題研究の方法

○課題テーマの設定

令和4年度の第1回までにテーマを設定し、事前に教育センターに提出する。

○取組の進め方

- ・ 2学期を中心に校内で取組み、その取組のまとめを第3回のときに報告する。
- ・ 2学期中に実施する校内授業研で行う授業は、できるだけテーマに関係するものを行う。
- ・ 第3回終了後に取組のまとめ（レポート）※別紙様式（案）参照と学習指導案（1回分。略案可）を教育センターに提出する。
- ・ 必要に応じて各教育事務所の特別支援教育支援専任教員や教育センター等の活用を行う。

### 4 その他

課題テーマ（テーマ名のみ）は島根県教育センターのホームページに掲載する。提出されたレポートと学習指導案は島根県教育センターと浜田教育センターの教育相談スタッフ室に保管し、閲覧できるようにする。

様式（案）

学校名		氏名	
テーマ名			
記載項目（例）			
1 動機			
2 学級の実態			
3 取組の実際			
4 成果と課題			
5 まとめ			

※A4判 2ページ（裏表1枚）程度

※記載内容については項目例を参考にすること。

※フォント、フォントのポイント、字数、行数は自由

令和4年度 特別支援学級担任スキルアップ研修 受講者名簿（西部）

番号	学校名	職名	氏名	学級	グループ名	ブレイクアウト ルーム (協議)	担当
01	美郷町立邑智小学校	講師	山下 美貴枝	①知的	A	ルームA	岡田
02	浜田市立雲雀丘小学校	教諭	尾崎 祐二	①知的			
03	邑南町立高原小学校	教諭	洲濱 早代	①知的			
04	邑南町立瑞穂小学校	教諭	原野 和子	①知的			
05	邑南町立市木小学校	教諭	鳥内 ひろみ	①知的			
06	浜田市立今福小学校	教諭	野田 憲治	②自・情	B	ルームB	秋山
07	浜田市立岡見小学校	教諭	高原 瑞希	②自・情			
08	大田市立五十猛小学校	教諭	舟木 郁子	②自・情			
09	江津市立郷田小学校	教諭	坂野 光俊	②自・情			
10	益田市立吉田南小学校	教諭	瀬戸 由美子	②自・情	C	ルームC	富澤
11	益田市立匹見小学校	教諭	福島 知子	②自・情			
12	津和野町立津和野小学校	教諭	市川 鮎美	②自・情			
13	松江市立城北小学校	講師	宮廻 しのぶ	②自・情			
14	浜田市立第一中学校	教諭	新田 佳世	②自・情	D	ルームD	土井
15	大田市立第一中学校	教諭	森脇 康弘	②自・情			
16	江津市立桜江中学校	教諭	川中 暁佳	①知的			
17	吉賀町立吉賀中学校	教諭	田中 宏美	①知的			

管理職セレクト研修

番号	学校名	職名	氏名	受講研修		ブレイクアウト ルーム
				講義1	講義2	
18	江津工業高等学校	校長	小嶺和隆	○		メイン セッション
19	江津工業高等学校	教頭	楫野哲央		○	
20	浜田水産高等学校	校長	白井明		○	
21	浜田商業高等学校	教頭	布施武司	○	○	
22	出雲市立国富小学校	教頭	福田秀治	○		